
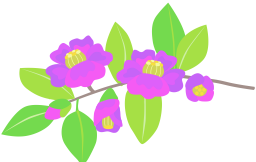




椿地区地域計画



豊かな自然に囲まれ
交通機関の充実した
安心して安全な
人のつながりが深い
まちを目指します。



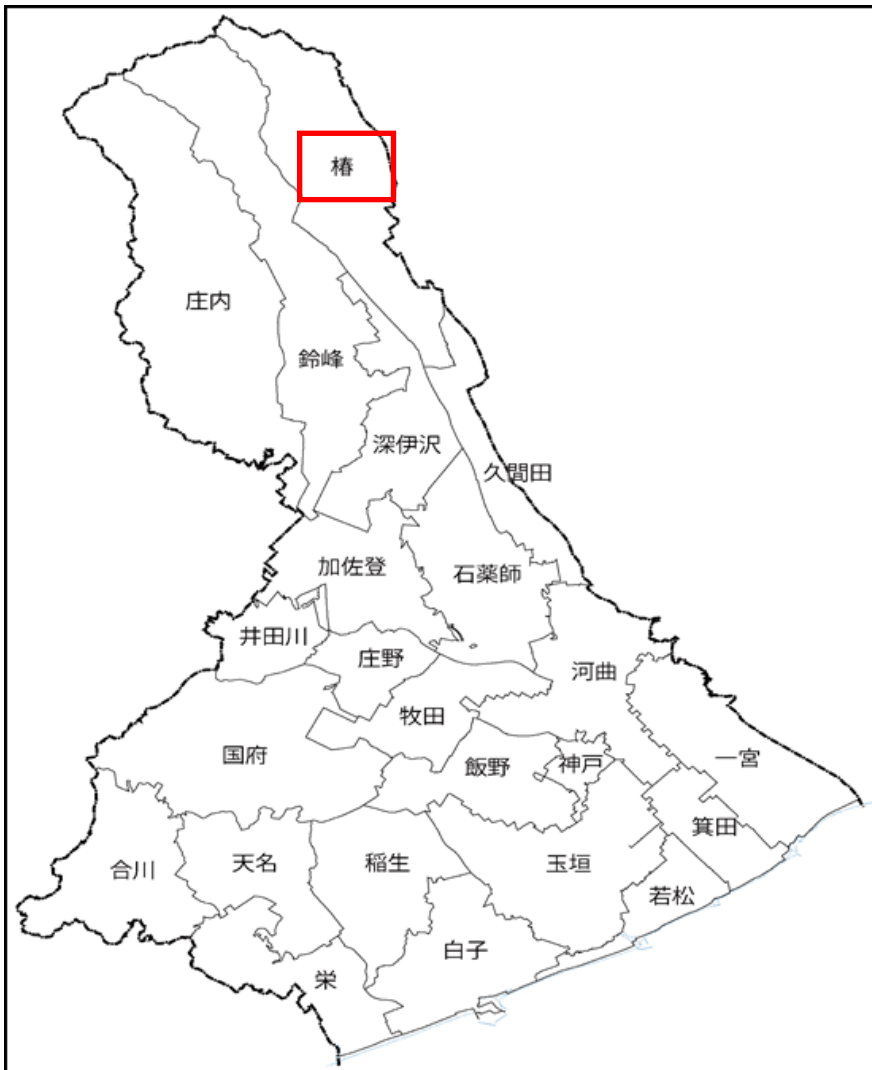
2023年4月



椿地区まちづくり協議会

1. 椿地区の姿

(1) 地区の現状と人口



椿地区は鈴鹿市の北西に位置し四日市市に隣接した地域です。

主な農産物はお茶で、地区内は茶畑が広がっています。

椿大神社、入道ヶ岳登山道といった伝統と自然の調和した観光名所があります。

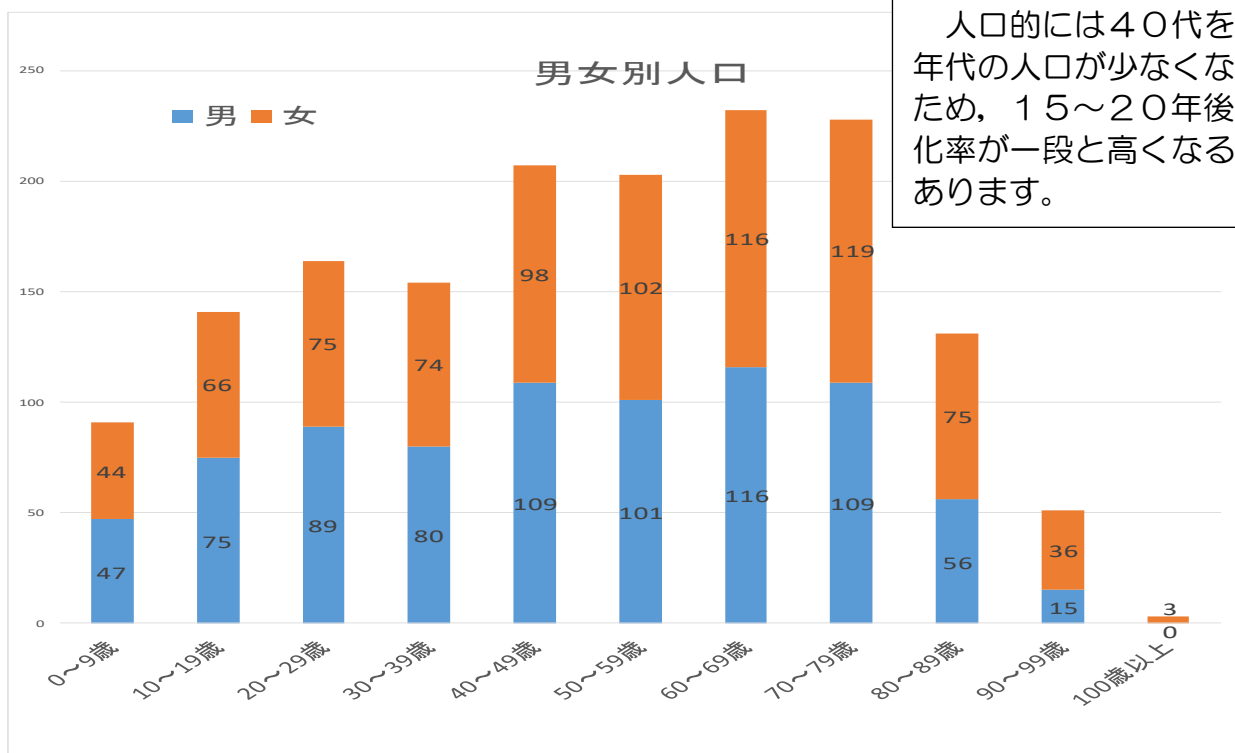
新名神の鈴鹿スマートインターチェンジ、サービスエリアのピット鈴鹿が出来て、交通量が増えました。さらに工業団地も造成され交通環境が大きく変わろうとしています。

◇世帯数
453 世帯

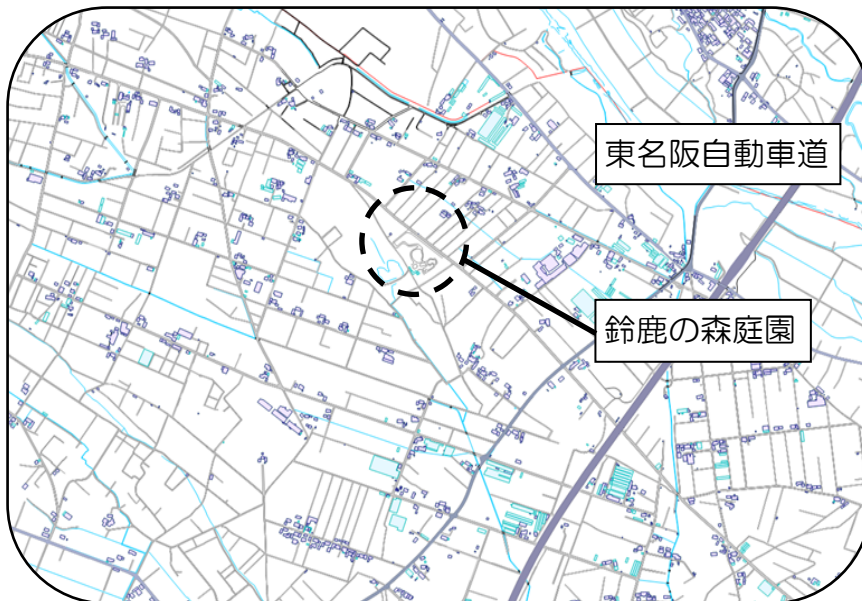
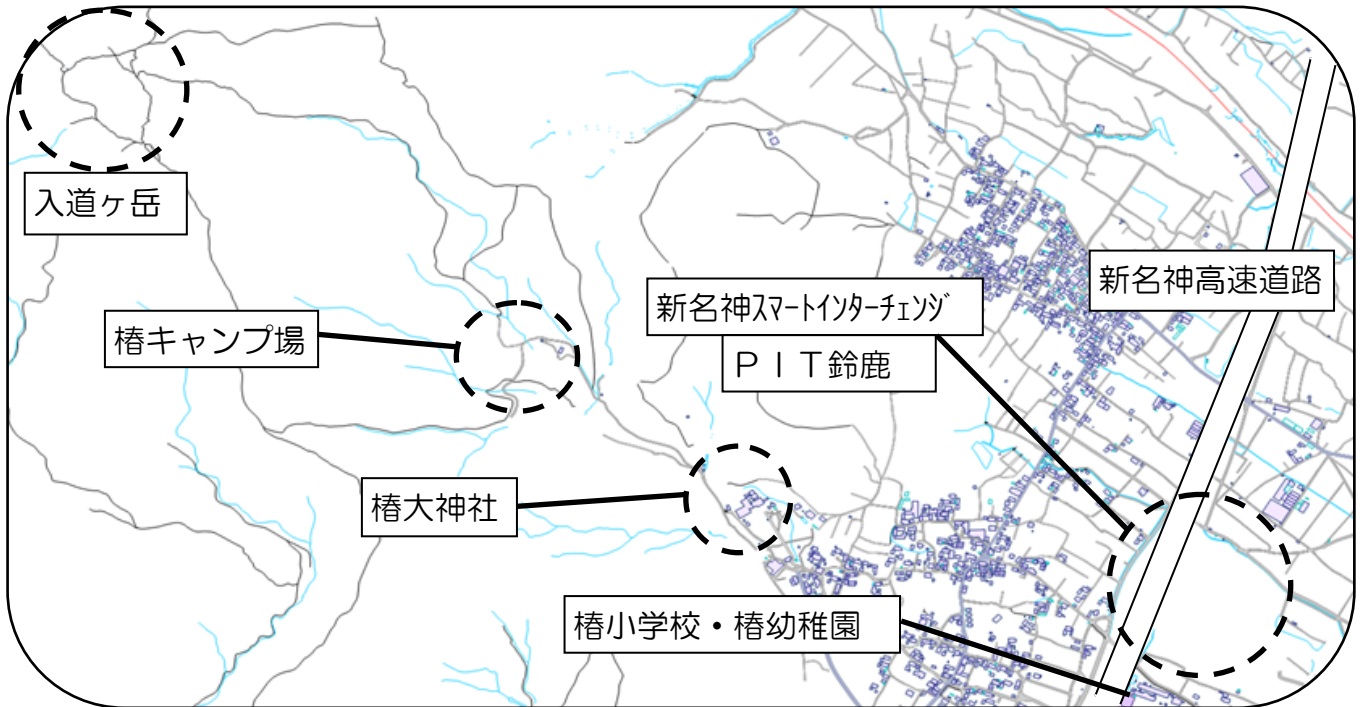
◇人口
1,605 人

※2020年12月末現在

人口的には40代を境に若い年代の人口が少なくなっているため、15～20年後には高齢化率が一段と高くなるおそれがあります。



(2) 地域の主な資源

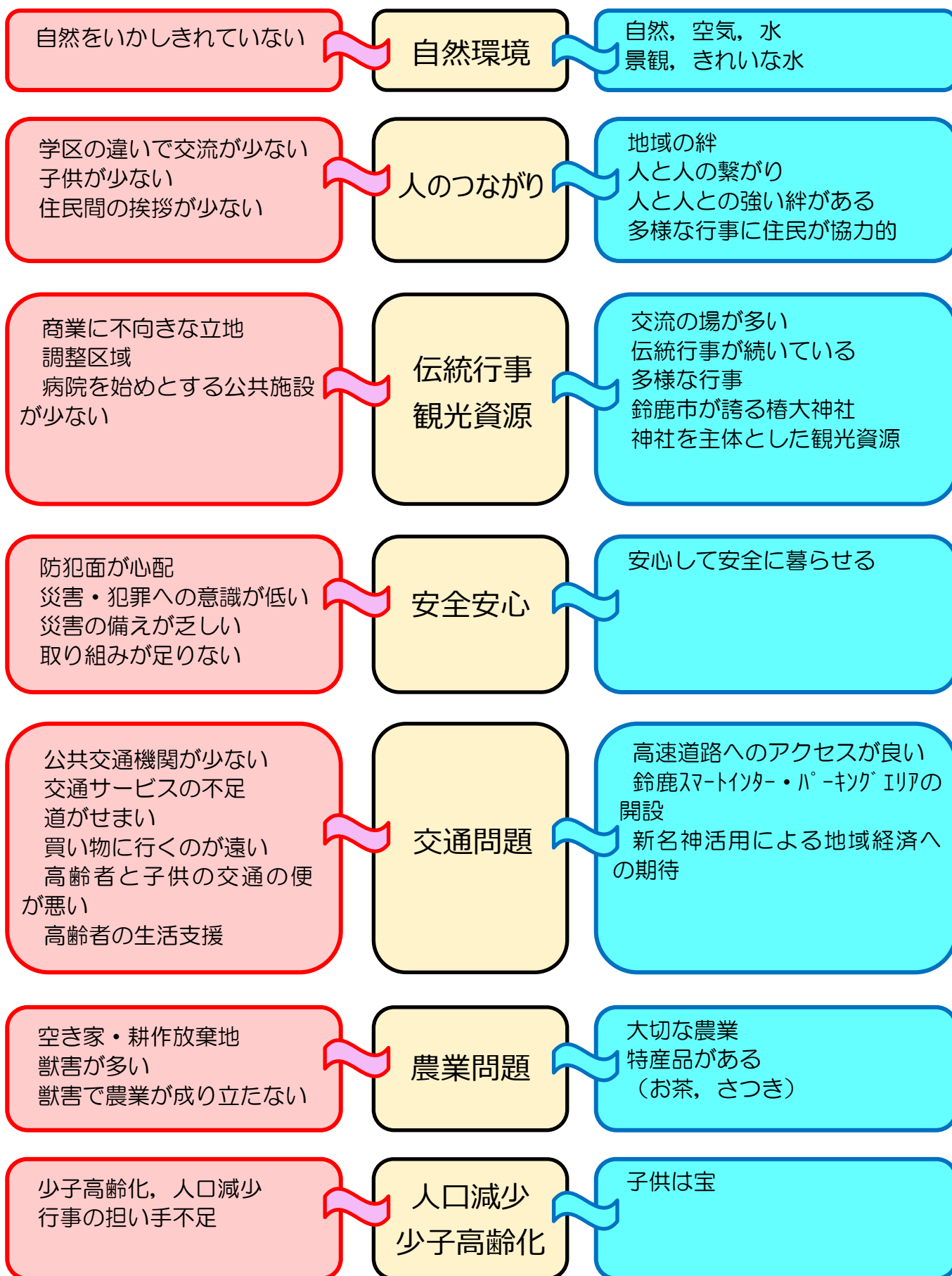


名 称	内 容
入道ヶ岳	鈴鹿セブンマウンテンの一つで初心者からベテランまで登山が楽しめます。
椿溪谷キャンプ場	入道ヶ岳登山道の入り口にあり登山が楽しめます。
椿大神社	猿田彦大神を祀る全国約二千社の本宮で、参拝者は三重県で3番目です。
ピット鈴鹿	新名神開通に伴い開店したサービスエリア、近隣の土産物やF1の展示も有り。
鈴鹿の森庭園	しだれ梅の名木が約200本有り、仕立て技術の存続と普及が目的です。
お茶の生産	お茶の生産量全国3位の三重県内で四日市、亀山市と並び主産地となっています。
植木の生産	鈴鹿市は、さつき、つつじの生産量が全国1位となっています。

(3) 地域の宝物と課題 (R1年開催のワークショップから抜粋)

地域の課題

地域の宝物



(4) R4年以降の課題のまとめ

◆福祉部会◆

- ・ 高齢者が増加している
- ・ 高齢者が昼間に一人で過ごしている

◆体育振興部会・文化振興部会・ 青少年育成部会・地域振興部会◆

- ・ 地域の人とのつながりを強く
- ・ コロナ禍で中止が続く行事

◆防災安全部会◆

- ・ 災害発生時の対応をどうするか
- ・ 防災や減災への取り組み

◆農業振興部会◆

- ・ 専業農家の減少
- ・ 次世代の農業者の育成

2. 地域づくりの基本目標

◇福祉部会◇

支えあい安心して生活できるまち

◇体育振興部会・文化振興部会・
青少年育成部会・地域振興部会◇

コロナ禍でもアイデアで地域の絆を強くする

◇防災安全部会◇

災害時の行動や交通安全への意識を高めよう

◇農業振興部会◇

椿地区の農業を未来へ繋いでいく

基本目標達成に向けて

福祉部会

行方不明者が発生した場合の
対応を考える

樺地区内の搜索態勢を
他地区のマニュアルを
参考に部会で協議し、
樺地区内の自治会との
協力体制を検討した
い。

基本目標達成に向けて

体育振興部会・文化振興部会・
青少年育成部会・地域振興部会

コロナ禍での行事の開催方法を
検討する

コロナ禍での開催可能な行事や開催方法を検討し、イベントを行う中で、主催側や参加者全員に楽しんでもらい、地域の絆を高めてもらいたい。

基本目標達成に向けて

防災安全部会

災害時の体制作り，交通安全への意識向上


地震等の災害発生時における地域での体制を検討していく。地域住民の防災・減災や交通安全への意識を高める活動を実施したい


基本目標達成に向けて

農業振興部会

今後の樺地区の農業のあり方を考える

10年後，20年後の
樺地区内の農業のあり
方を話し合い，農地の
集約化，栽培可能な農
作物を検討し荒廃地の
増加を防ぎ，地域農業
の継続を目指す。

福祉部会				
事業名	交通弱者生活支援			
目標	高齢者が必要な物を購入できるようにする			
事業概要	高齢者の買い物や移動の手伝いを行うための対応を協議し、実施可能な方法を見出していく。			
期待する効果	地区内の人々が支えあって、高齢者が買い物難民とならない			
連携する部会	役員会	役員会	役員会	役員会
実行計画				
計画年次	2020年	2021年	2022年	2023年
計画スパン				
取組内容 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民へのヒアリング ・高齢者の活動できる範囲の状況把握 ・生活で困っていることのニーズキャッチ ・準備組織の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携先との協議 ・他部会も含めて課題検討チームを結成 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの試行 	<ul style="list-style-type: none"> ・本格運営
概算予算額				
備考				

体育振興部会・文化振興部会				
事業名	イベントで絆を深める			
目標	イベントを開催しスタッフ，参加者の絆を深める			
事業概要	イベントの参加率アップや，イベントを補助してもらう人など担い手の			
期待する効果	現状開催しているイベント，新たに開催するイベントで参加者増加，次世代の育成			
連携する部会	役員会 防災安全部会	役員会	役員会	役員会
実行計画				
計画年次	2020年	2021年	2022年	2023年
計画スパン				
取組内容 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民ウォーキングのコースの検討 ・ロゲイニング ・防災マップ作成 ・スタンプラリー ・ノルディックウォーキング ・ふれあい縁日の内容検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリーで男の料理教室がふるまい出来ないか検討。 ・ウォークラリーのアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを参考に行事内容検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年目までの振り返り ・次年度からの方針を検討していく ・人材の確保
概算予算額				
備考				

青少年育成部会・地域振興部会

事業名	世代間ふれあい活性化			
目標	世代間の交流により親睦を深める			
事業概要	竹細工，凧あげなど昔の遊びの講師を高齢者が行い，子供と一緒に遊ぶ。			
期待する効果	空き家を交流の拠点とすることで空き家の有効活用を図る。異世代間の親睦を深めてもらう。			

連携する部会	役員会 福祉部会	役員会 福祉部会	役員会 福祉部会	役員会
--------	-------------	-------------	-------------	-----

実行計画

計画年次	2020年	2021年	2022年	2023年
------	-------	-------	-------	-------

計画スパン




取組内容 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の行事への子供と高齢者の参加率アップ方法の検討 ・ ふれあいの手法を考える ・ 空き家の調査(把握) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供と高齢者の参加率アップ ・ 高齢者を講師に子供たちが学ぶ。 ・ 使える空き家を探す ・ 関わってもらえる専門家，ボランティアを募集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 凧あげ大会 ・ 昔の遊び体験 ・ 空き家の使用ルール作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見直しと改善点検討 ・ 空き家の利用開始
--------------	--	---	--	---

概算予算額				
-------	--	--	--	--

備考				
----	--	--	--	--

--	--	--	--	--

防災安全部会・農業振興部会				
事業名	安全安心への意識向上			
目標	住民の防災防犯意識の向上			
事業概要	防犯カメラの設置，青パトの実施，地区内独自の防災マップ作製や防災フェスタを開催する			
期待する効果	防災防犯意識が向上する事により，住みやすく災害に強い樫地区となる。			
連携する部会	役員会 体育振興部会	役員会	役員会	役員会
実行計画				
計画年次	2020年	2021年	2022年	2023年
計画スパン				
取組内容 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状把握（設備，マップ） ・防災設備の情報収集 ・危険箇所マップの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯関連の検討 ・防災フェスタの企画 ・カメラの設置検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェスタ試行 ・炊き出し訓練 ・各世帯の防災意識アップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置 ・青パト走行開始 ・地区防災計画作成 ・防災マップ作成
概算予算額				
備考				